

郷愁のシルクロード・ウイグルへの誘い

～ 7月例会レポート～



▲報告者
ジャミラ・ウライム さん

幼少より少年芸術団で歌と舞踊を学び、現在はシルクロード ウイグルレストラン「ムカーム」のオーナーでありながら、シルクロード・ローラン歌舞団団長として日本とウイグル地区の文化交流活動を行うジャミラ・ウライムさんに例会での報告をお願いしました。

日 時 7月7日

場 所 シルクロード ウイグルレストラン「ムカーム」

参加者 40名

●8つの国と国境を接するシルクロードの通過点

ジャミラさんは、中国・新疆ウイグル地区、中央アジアの中心地ウルムチの出身。2003 年に来日し、同志社大学を卒業後、兵庫県立大学大学院博士課程後期を修了。学生の頃から、毎年さまざまな日本人をウイグルへ案内するスタディツアーを開催。ウイグルのことを日本に伝えることはもちろん、2012年には京都国際観光大使にも任命され、日本のことを、ウイグル地区をはじめ世界に伝える活動も行っています。

報告では、ウイグル地区の文化や風習のこと、産業のこと、気候のこと、食べ物のことなど、あらゆる面から語っていただきました。

ジャミラさんによれば、ウイグル地区は8つの国と国境を接し、シルクロードの通過点として古くから貿易も盛んであること。言葉も周辺の各国と近く、コミュニケーションが容易に図れることから、さまざまな人・文化がまじりあい、独自の文化が発展した地域であることなどを実際の映像とともに語っていただき、新疆ウイグル地区について全く無知であった我々にとって、新鮮かつ驚きの内容ばかりで、参加者全員が話に引き込まれ、ウイグルにぜひ訪れたいという気持ちになった参加者も多くいました。



●「果物」そして「歌と踊り」の里 ウイグル

ウイグル地区は、砂漠に囲まれた地域であるにも関わらず、意外にも果物の栽培が盛んです。乾燥地であることは、果物が甘く育ち、ドライフルーツの生産にも適していることから「果物の里」と言われ、バザールにはさまざまな品物が並びます。ぶどうの栽培は特に有名で、豊富な種類がありワインも生産されているとのことでした。

また「歌と踊りの里」とも呼ばれるほどウイグルの人々は歌と踊りが大好き。冒頭でもジャミラさんは、歌を披露し、報告・質問が終わった後は、民族衣装に身を包みウイグルのダンスを紹介していただき、懇親会は大いに盛り上がり、盛会で終わりました。

レストラン経営が一段落した今、ジャミラさんは「アーティストとしての活動をもっと掘り下げ、広げていきたい」と語られていました。遠く祖国から離れた土地で文化と人の架け橋となるジャミラさんの活動を我々も応援したいですね。

まとめ：(株)ギャレークルー 合田 耕作